

# 小学校外国語「読むこと」「書くこと」に関するテストへの提案 6年次修了段階にできることの調査

高橋 美由紀\* 山内 優佳\*\* 柳 善和\*\*\*

\*愛知教育大学

\*\*広島文化学園大学

\*\*\*名古屋学院大学

## A Suggestion for “Reading” and “Writing” Tests in Elementary School English Classes: Examination of What Six Graders Can Do

Miyuki TAKAHASHI\*, Yuka YAMAUCHI\*\* and Yoshikazu YANAGI\*\*\*

*\*Department of Graduate School of Practitioners in Education, Aichi University of Education,  
Kariya 448-8542, Japan*

*\*\*Hiroshima Bunka Gakuen University*

*\*\*\*Nagoya Gakuin University*

### 1. 研究の背景と目的

本研究では「読むこと」「書くこと」に関するテストを提案することを目的とする。これまで、小学校における外国語活動においては授業内の振り返り活動を主とした児童による自己評価が行われることが多くあったが、教科ではないという性質上、教員による成績評価は行われていなかった。しかしながら小学校高学年に外国語が教科として導入されたことにより、児童は英語の技能面で「できる」ことが評価されることになる。児童の英語能力をどのように評価するのかという事は喫緊の課題である。

平成29年版学習指導要領では、外国語の「読むこと」の目標として「ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする」こと、そして「イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする」ことが挙げられている。また、「書くこと」の目標として「ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする」こと、「イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする」ことが挙げられている。新学習指導要領対応教材として文部科学省より発行された『We can!』においても、イラストに英単語や英語表現が併記され

ていたり、Unitで学習する重要言語材料が文字で記されていたりする。5年生を対象とした『We can! 1』においては、英語で書くことを明確に求めている箇所は「He」と「She」のみであるが、6年生を対象とする『We can! 2』においては、Unit 4より「～する文を言って、書いてみよう」と、英語で文章を書く活動が設定されている。

ここまで述べてきたように、小学校外国語科における「読むこと」「書くこと」については、目標やそれに準じた学習活動を含む教材が示されている一方で、児童の英語技能を評価するという点においては十分な議論や調査がなされていないといえる。現在、小学生を主な対象として行われている英語テストとして日本児童英語振興協会による児童英検や日本英語検定協会による英検 Jr.が行われている。いずれのテストにおいても、音声や文字による問題に対して、絵や文字で示される選択肢を選ぶ解答形式が主に採用されている。しかしながら、これまで小学生を対象に実施されていたテストは上述のような外部試験であり、学校における学習内容の成果を把握するために教育課程内に位置づけられるものではなかった。平成29年に改訂された学習指導要領では教育課程内で読むこと・書くことについても求められるようになり、授業を通じた学習の成果を測るテストとして、書き写す問題も導入する必要がある。本研究では、授業内で音声に十分に慣れ親しんだ語句や表現について、文字に慣れ親しむ活動を経

験した小学校 6 年生を対象に調査を行うことにより、学習の達成度を測るテスト導入に先駆けて、児童ができることを把握し、今後のテスト作成に資する提案をする。

## 2. 調査

### (1) 調査対象者と学習内容

調査は公立小学校 6 年生 2 クラス 39 名を対象に実施された。対象児童は 1・2 年次に年間 15 時間に加えて毎日 9 分間のモジュールの時間、3 年次からは年間 35 時間に加えて毎日 9 分間のモジュールの時間で外国語活動の授業を受けている。5 年次にはモジュールの時間を週 1 回程度使用し、小学生向けの英語辞典（高橋編集協力, 2016）を用いて文字に慣れ親しむ活動に継続的に取り組んでいた（高橋・山内・柳, 2018）。しかしながら外国語活動の授業として学習していることから、英単語を書く練習や活動を授業内で取り扱うことはほとんどなく、CD により放送される英単語を聞いて発音する、単語が文字で書かれた付属シールを該当ページに貼る（図 1）、そして英語絵辞典に収録されている会話表現を読む活動や、その会話表現をもとに自分のことについて口頭でコミュニケーションをとる活動が行われていた。



図 1. 活動に用いられるシールの例

6 年次には英語辞典の内容を 5 年次に全て学習していることから、当該辞書を用いた活動はほとんど行っていないが、その記憶の定着を図るという意図で、6 月と 11 月にモジュール時間内に辞書を用いた活動を行なった。

6 月はコミュニケーションの場面が描かれた見開きページと、その場面で使用される基本的な英文のやりとり、及び、右端に掲載されている単語（図 2）を見て、英語を読む活動を中心に行なった。児童がコミュニケーションの場面の絵を見ながら、楽しくやりとりしながら、児童に文字を意識した活動を行なっていた。



図 2. 場面設定及び英文のやり取りとともに提示された英単語の例。(1 ページに 10 単語程度掲載されている。)

11 月は 6 月の時と同様のコミュニケーション場面の絵を見て、英語を書き写す活動から、自らが表現したい単語を選んで書く活動へと発展させて行なった（下記例に示す□部分の単語を、自分で選んだ単語で書く）。その際には、英語を書くための参考資料として辞書に収録されている例文が使用された。また、単語を参照する資料として辞書が用いられた。

例： What do you see in this town?

この町には何が見える？

I see a train.

電車が見えます。

『小学校外国語活動研修ガイドブック』（2009：54）では、文字指導のプロセスとして、以下の段階があるとしている。

- 第一段階：「文字に慣れる」＝児童が日常生活で目にする文字に慣れ親しむ。
- 第二段階：「大文字・小文字を識別する」＝カード遊びで、大文字と小文字の認識をする。
- 第三段階：「文字の組み合わせに慣れる」＝児童が音声に十分に慣れ親しんだ単語について、ゲームで単語を構成する文字の組み合わせに慣れさせ、初歩的な読むことに関連する活動を行う。

英語絵辞典では、このプロセスを基にして、第一段階では、CD を聞いて英語の音声に慣れ親しませる活動、第二段階として「文字に注意して」正確にシールを貼る活動、第三段階として「文字を構成する文字の組み合わせ、及び、読むこと＝単語の意味」を行なうこととした。

授業内で文字を読む活動は、以下の手順で行われた。

- ①CD を聞いて、その単語の文字を指し示した。
- ②CD を聞いた後に、単語の文字を指さしながら発話した。
- ③先生と一緒に、単語の文字をなぞって読んだ。
- ④児童のみで、単語の文字をなぞりながら読んだ。
- ⑤英文のやりとりの CD を聞いて、先生がなぞる文字を見ていた。
- ⑥CD を聞いて、指でなぞった。
- ⑦CD と一緒に指でなぞりながら読んだ。
- ⑧先生が What do you see in this town? と児童らに聞いた。
- ⑨児童らは、I see a train の train を別の単語に置き換えてその語彙を指さしながら読んだ。
- ⑩何度も繰り返した後に、文字を読むために、What do you see in this town? と児童が指でなぞりながら発話

し、先生が I see a **train** の表現を発話した。

- ⑩先生が I see a **train** の箇所にはこの絵にはない単語を言い、その語彙がないことを気づかせた。

読む活動では、「音と綴りの関係」については、指導はしていなかった。児童らは、コミュニケーション場面の絵の中で、グレーになっている単語にアルファベットが書いてある絵と巻末のアルファベット順に並んだ絵辞典のシールの絵を一致させて貼ることで、その単語の文字がなんとなく読めた気持ちになっていた。また、同じ頁の右端に「絵とその下に文字が書いてある単語」を見て、絵を見ながら音声で慣れ親しんでいるうちに、文字を覚えたこともあった。

授業内で文字を書く活動の際、児童らは1枚の紙に四本の線があり、1段目にはなぞるために単語が書いてあり、二段目には何も書いていない線のみが記載されている紙を渡された。以下の順で文字を書く活動を行なった(写真1)。

- ①CDを聞いて、その単語の文字を指し示した。
- ②CDを聞いた後に、単語の文字を指さしながら発話した。
- ③先生と一緒に単語を言い、その文字をなぞり、下段にそれを見て書き写した。
- ④単語の文字を書いた後に読んだ。
- ⑤英文のやりとりのCDを聞いて、先生がなぞる文字を見ていた。
- ⑥CDを聞いて、その文字をなぞり、下段にそれを見て書き写した。
- ⑦CDと一緒に書き写した文字を読んだ。
- ⑧先生が What do you see in this town? と児童らに聞いた。
- ⑨What do you see in this town? は、あらかじめ書いてあったので、児童らは、I see a **train** の **train** を別の単語に置き換えてその語彙を指さしながら読んだ。
- ⑩繰り返し読んだ後に、絵事典の中から自分の見たものを自由に書き写した。
- ⑪What do you see in this town? をなぞって書き写した。先生が I see a **train** の表現を発話した。

書く活動では、読む活動よりも文字に対する抵抗が強いと思われるため、その抵抗をなくすような工夫として、文字をそのままなぞる活動から導入し、その下に、文字を書き写す活動を取り入れた。さらに、音声でやりとりした文の一部が空欄となっており、その部分に自分で単語を選んで書き写す活動となっていた。しかしながら、早くできてしまう児童と遅い児童との個人差が大きく、時間がある児童には、全文を書き写す活動等、次のステップで予定されている自分の思いを書くことで表現できる活動に繋げた学習を行っていた。

このように、児童らは5年次に音声で慣れ親しんだ単語や表現を用いて、教師が What do you see in this town? 等の例文を参考にしながら読む活動・書く活動にも取り組んだ経験があった。

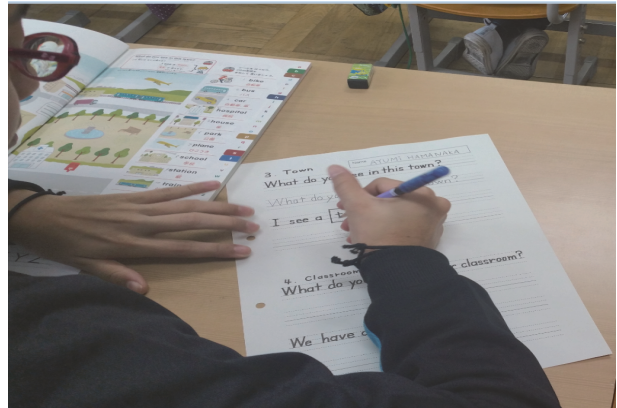


写真1：文字を書く活動

## (2) 調査材料

前半に英語学習に対する気持ちや学習背景を尋ねる質問紙を、後半に読むこと・書くことに関するテストを設けた(表1)。テスト問題に使用される表現や語彙は、すべて、児童らが使用していた絵辞典に掲載されているものである。

表1：質問紙(A)及びテスト(B)の形式

	問題形式	K
A	英語学習に対する気持ち及び学習背景を尋ねる質問(アンケート)	13
B	読むこと・書くことに関する問題	16
b-I	単語を読んで、絵を選ぶ	11
b-II	会話文を読んで、絵を選ぶ	6 <sup>注2</sup>
b-III	はじめの音に注目して単語を読み、書き写す	2
b-IV	単語を見て、辞書順に並び替える(10単語完答)	2
b-V	単語を辞書から探す	10
b-VI	辞書で探し、英会話の空所に単語を書き写す	10

(注) 小問は Appendix に掲載する。

## (3) 実施手順

質問紙及びテストは2018年3月1日に、日ごろ英語の授業を担当している担任とALT、英語の専科補助教員により実施された。児童には、本調査は学校の授業評価に関わるテストではなく、英語学習への取り組みについて調査するためのものであると説明された。児童らは5年次にも同様の質問紙及びテストに取り組んでいるが(高橋他, 2018)、書くことのテストが課されたのは初めてであったため、解答時間に児童間の差が

見られた。

### 3. 調査結果

#### (1) 質問紙調査の結果

対象者は、英語で読むこと (85%)、書くこと (72%) に楽しく取り組んでおり、英語辞書を用いた活動に対しても 8 割前後の対象者が楽しいと回答した (図 3)。今後取り組みたい学習として、半数以上が「アルファベットを書くこと」、「簡単な単語を書くこと」と回答しており、読むことや書くことへの興味関心の高さがうかがえた。

また、それぞれの活動の難易度について尋ねた質問にへの回答は図 4 に示すとおりである。「①とても簡単」「②簡単」を合計した割合を見ると、項目ごとのばらつきが見られる。「英語学習」に対しては「①とても簡単」「②簡単」の合計と「③難しい」「④とても難しい」の合計がほぼ拮抗している。また、「やり取り」「発表」「聞く」では、「①とても簡単」「②簡単」の合計が半数かそれを下回っているのに対して、「読む」「書く」では、「①とても簡単」「②簡単」の合計が半数を上回っている。さらに、辞書を使った学習については、「①とても簡単」「②簡単」の合計が半数を上回っている。これらの点については、第 4 章で議論する。

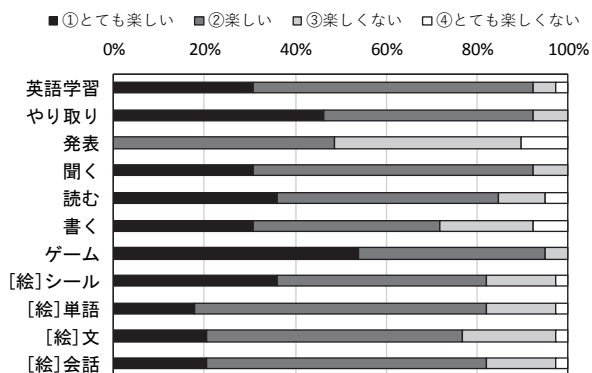


図 3. 英語学習の楽しさ 注3

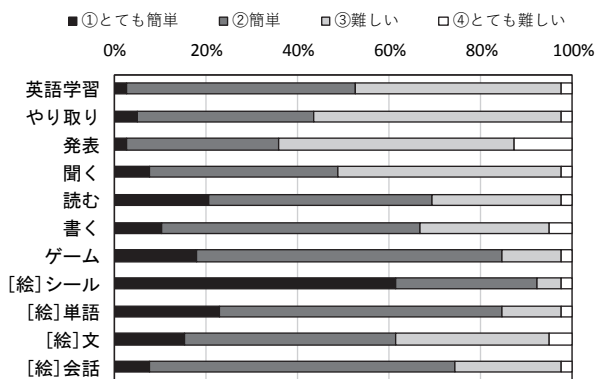


図 4. 英語学習の簡単さ・難しさ

#### (2) 英語テストの結果 (得点)

全体的傾向としてのテストの結果は表 2 及び図 5 に示すとおりである。本研究で実施した 6 年生への調査では、様々な場面で使用される語彙を読んで理解する問題 (大問 I) に 22 名が全問正解した。その他の大問についても大問 VI 以外では、20 名前後が全問正解していた。基本的な表現で作成された短い会話文を読んで理解する問題 (大問 II) が示すように、文レベルの英語を読んで理解することができている一方で、空所補充の形式で書き写す問題 (大問 VI) の正答率は平均 48%であった。さらに、全問不正解の者から全問正解の者まで存在し、対象者間の力の差が明らかとなった。

上述のとおり、大問 VI 以外の問題においては多くの児童が高得点を取ることができていることがわかった。次に、テスト作成や実施に際しての留意点などの示唆を得るために、大問ごとに誤りが多い小問に着目する。

表 2: 各大問への正答率及び満点を出した児童の数

	I	II	III	IV	V	VI
正答率	87%	79%	79%	68%	78%	48%
満点の人数	22	18	23	20	22	4

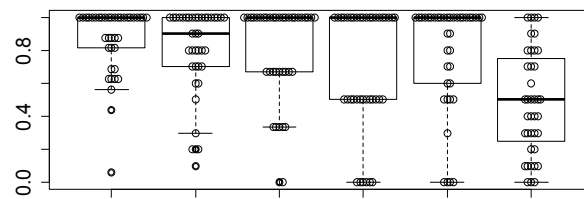


図 5. 各大問への正答率。(問題の概要は調査材料の項 b に示すとおりである。)

#### (3) 英語テストにおける誤答の傾向

最も正答率が高かったのは大問 I であり、10 問中 8 問で 80%以上の児童が正しく答えていた。誤答が目立った 2 つの小問は *bike* (正答率 74%)、及び *fridge* (正答率 59%) であった。大問 II の小問ごとの正答者の割合は 64~90%であった。最も正答者が少なかった問題は *What season do you like? - I like spring.* という会話文を読んで、春の絵を選ぶ問題であった。大問 III については、正答者の割合が 74~85%で小問間のばらつきが小さかった。大問 IV は小問を 2 問のみ設定されており、1 問目は絵と英単語と日本語訳が提示されている問題、2 問目は文字のみが提示されている問題であった。正答者の割合は、絵と日本語訳が付いていた問題で 51%、文字のみの問題で 85%と大きな開きがあった。

続いて、辞書を使った問題である。大問 V の各小問における正答者の割合は 67~90%であった。正答者の割合が低い問題が *koala* と *tiger* (いずれも 67%) であり、反対に正答率が高い問題は *bear* (90%)、*dog* (85%)、

cat (85%) と、辞書の前半に掲載される語が占めた。最後に、最も正答率が低かった大問 VI において、小問ごとの正答者割合は 23~67%であった。大問 VI については全体的に正答率が低いことから、以下で問題形式について考察する。

#### 4. 読むこと・書くことのテスト及び指導をするうえでの留意点

##### (1) 語彙の選定—音と文字の一致—

単語を文字により提示して絵と一致させる問題（大問 I）は、本調査のテスト中、最も正答率が高い問いであった一方で、昨年度 5 年生の段階で実施した調査においては、音で単語を聞いて解答を求めた問題に対する正答率は 92%であった（高橋他, 2018）。すなわち、文字に親しむ活動を実施していても、音として十分に慣れ親しんだ単語が自然に読めるようになるとは限らないことを意味している。本研究で対象とした児童は、第 2 章で説明した通り文字を読んだり書いたりして慣れ親しむ活動に取り組んでいたが、文字は単語や表現として与えられていた。そのような活動のみでも文字に親しむ活動として一定の成果を上げているといえるが、音と文字をつなげる指導をする必要性が改めて明らかになった。

大問 I の *bike* に対して誤答が多かったことは、既に学習しているローマ字からの干渉が生じている可能性がある。具体的には *i* を /i/ ではなく /ai/ と発音すること、発音しないサイレント *e* があることが要因と考えられる。しかしながらこの点を結論付けるためには、同様にサイレント *e* による重母音化・長母音化が起きている語（e.g., *cake*, *time*, など）を用いた調査が必要である。*fridge* は比較的出現頻度が低く、児童にとって高レベルな語であるが<sup>注4</sup>、授業では他の語と同じように扱われており、音声面でも文字の面でも単語そのものには慣れ親しむことができているといえる。しかしながら、/ft/ と子音が連続し、文字群 *dge* が 1 つの音素 /dʒ/ で発音されるという点において、言語学的には日本語の平仮名や片仮名にはない文字の特徴が含まれていることから、読むことに困難が生じていたと考えられる。これらの文字と音を一致できているかという点については、児童が単語を塊として捉えているのか、あるいは 1 文字 1 文字を音とつなげることにより読めるのかを明らかにすること、すなわち、単語を文字で見て理解するまでにどのような処理が行われているのかという、単語認知モデルの検証が行われるべきである。

小学校の外国語及び外国語授業で取り扱われる語彙の多くは、児童の生活に身近なものである。児童にとって「慣れ親しんだ語」とは、授業内の取り扱いや日常生活で耳にする、目にするというインプット量から判断することができるであろうが、本調査から、言語学的な難しさについても考慮に入れた上で、どのよ

うな特徴をもつ語をテスト項目に含めるのかということと十分に検討する必要があることが示された。

##### (2) 英語の文字以外による視覚的補助の役割

既に述べてきたように、補助的に絵が示された問題において正答率が高かった。絵などの補助を用いることによって、学習したことを想起させている可能性があり、基本的な語彙や表現を読んで理解することの促進につながっているといえよう。しかしながら、大問 II で誤りが多かった問題 *What season do you like? - I like spring.* については、絵の提示によって誤りが誘発された可能性がある。正答はピンク色の桜の木で示されていたが、*When is your birthday? - It's August 14.* の選択肢として用意された絵にも、春にあたる 3 月が含まれていた。綿密なテスト作成のためには絵の精査が必要となるが、より抽象的な語（形容詞など）をテスト項目に含めるのであれば、意味の選択肢として絵を示す意外に日本語訳を示すことも可能性として検討すべきであろう。また、理解を補助するという目的で視覚情報（絵など）を利用することは意味があるとしても、テストの際の選択肢として絵を用いることはできるだけ避けるべきであるという議論も可能であろう。

また、日本語訳についても、十分に検討が必要である。単語を辞書順に並び替える問題で明らかになったように、絵や日本語訳が伴う方が、正答率が低い場合もある。当該問題は辞書順に並び替える、すなわち、語頭の 1~2 文字に注目し、アルファベット順になるよう並び替える問題であるため、実際のところ、意味を理解しなくても解答できる。情報が多くなったことで、補助として提示したはずの日本語訳等が正しく解答することを阻害した可能性が示唆される。

##### (3) 例文を参考に書くことの難しさ

英語による質問と応答を読んでその内容を理解することはできても（大問 II）、適切な応答になるよう語群から単語を探して書き写すことには課題があった（大問 VI）。読むことに十分に慣れ親しんでいても、それが自然に「例文を参考に（中略）書くこと」へはつながらないことに留意すべきである。

文部科学省（2018）が発行した新学習指導要領対応小学校学指導教材『We can!』には、ユニットの最後に *Let's Read and Write* という活動が設定されている。内容は「〜する文を言って、書いてみよう」というものであり、ユニットで学習した基本的な表現を例にして、自分が言いたいことを書く活動にあたる。児童はおそらく既習ページまたは巻末に掲載された *Word List* を頼りに単語を探し、当てはめることになる。本調査の結果で明らかになったように、*Let's Read and Write* の活動においても、文脈に当てはまる語を空欄に記入する形式に対して児童が困難を示すことが懸念さ

れる。本調査では児童が学習活動に用いていた辞書の使用を可としており、それは Word List に代わるものものとして考えられる。授業内の指導時には、Word List を参考に書くといった指示のみでは、求められている文を書くことができない児童も多く存在するであろう。文脈に合った語が提示されている教材の開発も求められる。

#### (4) 書くことに必要な時間

単語を書き写す形式では、解答に時間を要する対象者も見受けられた。学習指導要領が示す「書き写すことができる」「例文を参考に(中略)書くことができる」という学習目標を達成する過程や最終目標に、ある程度スムーズに書くことも求められているのであれば、授業外におけるペンマンシップなどの取り組みが必要とされることになるかもしれない。

読むこと・書くことについては、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編』において「中学年の外国語活動では指導しておらず、慣れ親しませることから指導する必要がある、『聞くこと』、『話すこと』と同等の指導を求めるものではないことに留意する必要がある」(p. 70)と明記されている。本研究が対象とした児童らが受けてきたように楽しみながら文字に触れる活動は、「慣れ親しませることから指導する」という点に合致するといえ、親しむというステップを踏むことで、読んだり書いたりすることを「楽しい」「簡単」と感じているとも考えられる。一方で、先に挙げたペンマンシップのような、一種の訓練的な授業内外の学習活動は小学校外国語科が目指すところに沿うものなのであろうか。「慣れ親しむ」という言葉の解釈にもよる部分があるためここでは具体的な学習・指導形態について明言することは控えるが、中学校への接続のためには、目標として示されている項目については、児童が苦手意識を持たずに卒業できるよう、指導段階で指導者が形成的評価を行いながら適切なステップを設けることが求められる。そのための手立てとしての、小学校英語の評価方法の開発が求められており、今後、より多くの児童を対象とした読むこと及び書くことのテストを通して、項目プールの作成につなげていきたい。

#### 5. まとめ

本研究では、学習したことの達成度を測るという目的から、今回の調査には、児童が学習に用いていた英語辞典に収録される語句や表現のみを用いた。調査の結果、小学校6年生が、口頭での言語活動を通して学習した内容であれば、おおむね解答可能であることが分かった。しかしながら、語の音や文字といった言語的特徴や問題の形式によっては既知の語や表現を読む

こと・書くことには困難が伴う。音と文字を一致させる指導方法、視覚的(場合によっては聴覚的)補助の提示や語彙リストの活用について検討された教材及びテストの開発が求められる。

#### 注 釈

- 1 本稿は第44回全国英語教育学会京都研究大会にて発表した「小学校外国語「読むこと」「書くこと」に関するテストの提案」(2018年8月26日、龍谷大学)の内容に加筆・修正を行なったものである。
- 2 6問中、結果に含めるのは3問のみ。
- 3 5年次の調査(高橋他, 2018)においても、発表への興味関心は他の活動よりも低い、6年次になりさらに楽しく感じられなくなっている。話すことについては本稿の焦点ではないためここでは議論を控えるが、今後、原因を究明し(例:発達段階に生じる自然な減少、学習活動が影響している、等)、発表することの学習に対する抵抗感を持たせないような指導を目指した調査及び研究が求められる。
- 4 *fridge* について、British National Corpus によると、文字での出現頻度は4,490位(大問Iで扱われた他の語の出現頻度は380~4,428位)で、JACET8000ではレベル5として扱われている。一方で、同様の頻度及びレベルである *recorder* (頻度4,428位、レベル5)の正答率は87%であることから、*fridge* がもつ言語的(文字と音の特徴)が児童にとって理解を妨げる要因となったと考えられる。

謝辞: 調査にご協力くださいました小学校の先生方、児童の皆様へ感謝申し上げます。また、本発表は「「読むこと・書くこと」の主体的協働的な学びにおける初等英語カリキュラム開発と評価」(H29~H31)課題番号17K03008の成果の一部です。

#### 文 献

- 文部科学省(2009)『小学校外国語活動研修ガイドブック』旺文社
- 文部科学省(2018)『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編』開隆堂
- 文部科学省(2018)『We can!』東京書籍
- 高橋美由紀(編集協力)(2016)『くもんのシールでワーク英語絵じてん』くもん出版。
- 高橋美由紀・山内優佳・柳善和(2018)「モジュール授業を活用した小学校高学年の英語教育の実践「読むこと・書くこと」の指導を中心に」『愛知教育大学研究報告』第67輯, 1-9。

(2018年9月18日受理)

Appendix 使用された調査項目及びテスト問題 ※【 】内は、実際のテストにおいては印字されていない。

皆さんの英語に対する気持ちや、英語学習について、当てはまるものを○でかこんでください。

1. 英語を学ぶこと

好きですか	①とても好き	②好き	③きらい	④とてもきらい
楽しいですか	①とても楽しい	②楽しい	③楽しくない	④とても楽しくない
簡単ですか	①とても簡単	②簡単	③難しい	④とても難しい

【以下、問2～11について、上記と同様に「楽しいですか」「簡単ですか」を尋ねる。】

2. 外国人の先生や友達と英語で話すこと
3. 英語でみんなの前で話したり、発表したりすること
4. 外国人の先生の話など、英語を聞くこと
5. アルファベットの文字やかんたんな英語の文字を読むこと
6. アルファベットの文字やかんたんな英語の文字を書くこと
7. 英語を使ったクイズやゲームをすること
8. 絵じてんにシールを貼ること
9. 絵じてんで単語を探すこと
10. 絵じてんを使いながら英語の文を作ること
11. 絵じてんを使いながら英語で会話をすること
12. これからどんなことを英語で習いたいですか？ 当てはまるものすべてに、○をつけてください。

- ①外国人の先生の話や、放送などの英語を聞くこと
- ②外国人の先生や友達と英語で話すこと
- ③英語で、みんなの前で話したり発表したりすること
- ④アルファベットの文字を読むこと
- ⑤cat や apple 等のかんたんな文字を読むこと
- ⑥英語の絵本などを先生に読んでもらうこと
- ⑦英語の絵本やかんたんな英語の文を読むこと
- ⑧アルファベットの文字を書くこと
- ⑨cat や apple 等のかんたんな文字を書くこと
- ⑩身近にある英語の文字を書き写すこと
- ⑪英語の歌を歌うこと
- ⑫英語の劇をすること
- ⑬その他 ※具体的に書いてください。( )

13. 学校以外で英語を習っていますか？ はい ( ) 年間・ いいえ  
習っている人はどんなことを習っていますか。当てはまるものすべてに、○をつけてください。

- ①英語を聞いたり、話したりしている。
- ②アルファベットの文字を読んだり、書いたりしている。
- ③英語の文を読んだり、絵本を読んだりしている。
- ④英語を書いたり、文字を見て書き写したりしている。

⑤その他 ※具体的に書いてください。( )

ここからは、英語を読んだり書いたりして答える問題です。

[ I ] 次の英語の言葉の意味を表す絵に①から⑯までの番号を書いてください。

- ① ball                    ② giraffe                    ③ yogurt                    ④ hospital                    ⑤ candy  
 ⑥ fridge                    ⑦ bike                    ⑧ ice cream                    ⑨ ruler                    ⑩ Saturday  
 ⑪ recorder                    ⑫ onion                    ⑬ flower                    ⑭ pencil                    ⑮ eye                    ⑯ woman

【各単語に対応する辞書内のイラストが提示されたが本稿では割愛する。】

[ II ] 次の絵に合う英語の会話文を①～⑪の文から選び、( )に記号を書きましょう。

① What do you have for breakfast? I have bread.	⑤ What animal do you like? I like horses.	⑨ When is your birthday? It's August 14.
② What season do you like? I like spring.	⑥ What day is it today? It's Monday.	⑩ What sport do you like? I like tennis.
③ What color do you like? I like purple.	⑦ What do you want to be? I want to be a singer.	⑪ What do you want to eat? I want to eat salad.
④ What do you do in the living room? I play with cards.	⑧ What fruit do you like? I like cherries.	

【各会話文に対応する辞書内のイラストが提示されたが本稿では割愛する。】

[ III ] 次の英語を発音して、最初の文字が同じ仲間の音ではないものを選んで、その単語を書いてください。

- ① egg                    ear                    elephant  
 ② monkey                    mouth                    mother                    【3つとも、はじめが /m/ の音である出題ミス】  
 ③ one                    orange                    onion                    【3つとも異なる音 /w/ /ɔ/ /ʌ/ である出題ミス】  
 ④ apple                    April                    aunt  
 ⑤ cat                    cap                    car                    【3つとも、はじめが /k/ の音である出題ミス】  
 ⑥ umbrella                    uncle                    UFO

[ IV ] 英語の辞書の順番（アルファベット順）に並べましょう。

(1) 絵を参考にしながら英語を辞書の順番に並べて、順序よく、( )の中に記号（ア～コ）を書きましょう。

※『英語絵じてん』は使いません。

(ア)  grapes ぶどう	(イ)  tomato トマト	(ウ)  corn とうもろこし	(エ)  potato じゃがいも	(オ)  pumpkin かぼちゃ
(カ)  melon メロン	(キ)  strawberry いちご	(ク)  lemon レモン	(ケ)  cherry さくらんぼ	(コ)  banana バナナ

- ① ( )                    ② ( )                    ③ ( )                    ④ ( )                    ⑤ ( )  
 ⑥ ( )                    ⑦ ( )                    ⑧ ( )                    ⑨ ( )                    ⑩ ( )

(2) 英語を辞書の順番に並べて、順序よく、( )の中に英語を書き写しましょう。

※『英語絵じてん』は使いません。

notebook                    face                    pilot                    water                    juice



baseball	table	sister	window	butter
① (            )	② (            )	③ (            )	④ (            )	⑤ (            )
⑥ (            )	⑦ (            )	⑧ (            )	⑨ (            )	⑩ (            )

[V][VI] 下の英語は、『英語絵じてん』の何ページ目にのっていますか。

(※児童へはまとめて1つの大問として提示された。)

(1) 『英語絵じてん』のパート2からさがして、ページ番号を書きましょう。

【パート1はトピックごとに、パート2は語彙がアルファベット順で語彙が掲載されている。】

①hamster (      ページ)	②dog (      ページ)	③monkey (      ページ)	
④bear (      ページ)	⑤horse (      ページ)	⑥tiger (      ページ)	
⑦cat (      ページ)	⑧pig (      ページ)	⑨cow (      ページ)	⑩koala (      ページ)

(2) 『英語絵じてん』からさがして、①から⑩の英会話を  
下の単語から選んで (            ) に入れて、完成させましょう。

pink	drums	station	father	carrots	rabbit	
seven	sweater	head	winter	lion	blackboard	bed

- ① What kind of clothes do you have? I have a cute (            ).
- ② Tell me about your family? This is my (            ).
- ③ What do you have in your classroom? We have a (            ).
- ④ What do you have in your room? I have a (            ).
- ⑤ What do you see in this town? I see a (            ).
- ⑥ What do you see in the park? I see a(            ) in the park.
- ⑦ What time is it? It's (            ).
- ⑧ Touch your (            )!
- ⑨ What musical instrument can you play? I can play the (            ).
- ⑩ What vegetable do you like? I like (            ).